

豊かな自然と伝統文化の郷 よねかわ

発行元：米川地域振興会

発行日：平成25年12月1日

第 32 号

米川新聞 12

歴史探訪シリーズ「ふる里の歴史を知ろう」

隠れキリシタンと製鉄

宗教が違っただけで、人々は苦しみ、仲間はずれにされ、そして殺されてしまうことがあります。

遠い昔、登米市東和町と岩手県藤沢町に、国と地域の発展のために尽くした人々がいました。島原の乱から始まったキリスト教信者に対する厳しい弾圧……しかし、その弾圧からのがれた人々がいたのです。そして逆に、保護されたという事実があります。なぜ弾圧からのがれ保護されたのでしょうか。

1549年、スペインの宣教師フランシスコ・ザビエルがキリスト教を広めるため、鹿児島に上陸しました。ザビエルは、岡山・山口・大分・広島などで布教活動をし、2年後に帰りました。当時、狼河原村(今の東和町米川地区)に千葉土佐という人物が住んでいました。土佐は「関西の方では、南蛮流の製鉄法が盛んだと聞いている。自分もこの土地で製鉄をやってみよう」と思ったのです。土佐は、1558年、今の岡山県から、布留大八郎とその弟小八郎を招いて、この地に住まわせました。そして千松沢で製鉄を始めたのです。この製鉄の技術を大八郎とその弟小八郎から伝授してもらった人たちが千葉土佐を含めた8人でした。当時製鉄する場所を煙屋(どうや)と呼んだことから、この人々を「煙屋八人衆」と呼びました。

大八郎兄弟に教えを受けて製鉄を始めたのですが、鉄が溶けるまでには相当長い時間がかかりました。この時、あるお呪いを唱え、鉄がよく溶けるということを教えられました。その唱えごとをしたら、本当によく溶けたのです。たぶん、その唱えごととは、キリスト教の教えと祈りのことばだったのでしょうか。煙屋の経営者は、製鉄のためには喜んでこの教えを受けました。実はこの二人の兄弟がキリシタンであり、西洋からキリスト教を通じてこの製鉄法が導入されたのでした。同時に炭焼きの技術も伝わったのです。大八郎兄弟の教えた製鉄法とは、「たたら式」といいます。またの名を南蛮流製鉄法といって、従来の方法の数倍の生産力がありました。また、燃料には質の高い木炭がかかせませんでした。最も鉄の生産量の多いときには、その範囲が岩手県磐井地方にも広がりました。当然のことながら、キリスト教も広がっていったのです。

1596年からは、伊達政宗の住む岩出山城へ送られ、仙台城を作るためにも使われました。このことが基で、鉄は伊達藩の最も重要な産物となりました。1598年、秀吉から「荒鉄2400貫(9000kg)を大阪城に送れ」という書状が政宗に届き、狼河原村、大籠村の鉄を大阪城に送りました。秀吉は、検地と一緒に天下の産物までも調査したと考えられています。狼河原村の月山屋敷を江戸城の役人と、伊達藩の役人の御宿として指定したことから、政宗や秀吉と同様に家康も大きな関心を持っていたことがわかります。

1611年、伊達政宗は、江戸からルイス・ソテロを迎えました。ソテロの話を聞いた政宗は、西洋文化のすばらしさと、キリスト教の精神の崇高さに心をうたれ、教会を建ててその布教を許したのです。大八郎兄弟が布教を始めてから53年後のことでした。ポルトガル貿易を優先した江戸幕府も、1612年、幕府直属の家臣と江戸におけるキリシタンの禁教令をだしたのです。1613年政宗は外国との貿易を志し、家康の許可をえて支倉常長をスペインに派遣しました。このとき一緒に後藤寿庵という人物も行ったのです。

その次の年、キリスト教信者に対する弾圧が、伊達藩にも開始されるようになりました。しかし、伊達藩は製鉄の保護という意味から、キリシタンを見てみぬふりしました。当時、伊達藩では、鉄砲を作るための原料や農地を耕すためのすきやくわの原料として鉄が必要だったのです。この時代に作られた「菊一」「菊上」といった鍬の一部が今も残っています。(つづく)

参考文献 ・「洞窟は待っていた」仙北隠れキリシタン物語 沼倉良之著
・大籠の切支丹と製鉄 岩手県藤沢町文化振興会

おもてなしの心 あふれる笑顔
Hospitality 米川公民館 and Smile



K.M



Y.N



Y.O

発行元
発行責任者
郵便番号
住所
Tel
Fax
E-mail
URL

米川地域振興会(米川公民館内)
及川 浩
987-0901
登米市東和町米川字四十田25番地1
0220-53-4155
0220-23-9030
yonekawa.kou@chime.ocn.ne.jp
http://miyagi-Yonekawa.com/□



火災・非常事態宣言

登米市消防本部・登米市消防署から、**火災**・非常事態宣言が発令されました。**火災**は注意することで防げます。**もう一度家庭内で総点検**をお願いします。



監督に指示通り投げるつもりが...

冬季の運動不足解消と健康増進そして地域の親睦を図ろうと、11月17日第2回米川地域振興会長杯争奪ユニカール大会を米川公民館で開催。この大会には、地域内10チーム35名が参加し熱戦を展開しました。

参加者からは、「競技レベルが格段に上がり、運動不足の解消だけでなく、大いに頭の体操にもなる」と好評でした。

▽優勝 米川うま
▽準優勝 米川うま
▽第3位 米川うま

月まのツユ　のし加ジ区
予す普とニ米小たしたるに第
定。及してカ川野米たると完
。次拡て――――――――――
ご回大を置ル域公う果強い今
期大を行付け地振興會で、回
待会はって、ス、ポは、大
下は、お競、は、米
さ来、り技、は、川
い。2、



上位独占の米川10区の選手たち

ユニカール大会

第2回米川地域振興会長杯

米川10区上位独占！



大勢の来場者に賑わった 綱木親和会館広場

す岩手・宮城県境で暮らす人たちの交流などを目的に、11月2～4日（実行回峠の里・秋の市）が、委員長 〓小野寺正巳氏（開催された親和会館広場で住民が収穫した野菜や果物を、民が販売、地元芸家の作品展示や、地元工業家の作品展製作した遊具。また竹炭づくりなど、多くの企業にづくりなど、多くの企業を満喫していきました。



里山ならではの「稲穂のれん」

きたこのお祭り、今回が
最後？との事。継続でき
た背景には多くの苦勞が
あつたと聞いています。
綱木地区の皆さんお疲れ
さまでした。来年は新た
な企画での「里山PR」を
を楽しみにしています。

今回でひと区切り



中学生の力作 樹上ハウス

峠の里・秋の市実行委員会

峠の里で
地域間
世代間
交流

よねかわ情報コーナー(催し物)

加工特産品開発セミナー

**対象者：米川地域で6次産業化について学びたい方
加工特産品(加工食品)に興味のある方**

日 時：①平成25年**12**月**12**日(木) 13:00～17:00

② “ 13日(金) 10:00~15:00

場 所 : 米川公民館

内 容 : ① 学習…おいしくて安全で安心な商品開発の手法

② 実習…地域資源を活かした惣菜のホットパック製造実習

主 催：米川地域振興会

問合せ：米川公民館まで気軽にご連絡下さい ☎ 53-4155



クール米川プロジェクト (地域づくり支援プロジェクト)

月日:①平成25年**12月24日**～**27日**

②平成26年2月3日～6日

内容: 関西の学生5~10名が米川を2回訪れ、視察と交流で「地域づくりプラン」を立案。

場所：米川全域（活動拠点：米川公民館）

主催：米川地域振興会

皆さんのご協力をお願いします

米川公民館 俳句教室

選者：俳句教室講師 藤野尚之 氏

11月の兼題 時雨 鯛焼 大根

選者の二句
松島の二百余島の初時雨
大根でチャンバラしたる少年期

鯛焼を手土産にして小昼時
銀山温泉のガス灯けむる夕時雨
鯛焼でまず手を温め下校の子
鯛焼の等分見張る三姉妹
道端で高原大根 だいこん値引
人逝きて大根煮ゆる寺の庫裡
大根葉茹でておひたしくるみ
観音堂にしとしとと降る初時雨
新築の祝ひも果てて夕時雨
大根葉刻み塩漬け朝ごはん
早起きし出荷の大根引きにけり

米川 米川 米川 米川 米川 米川 米川 米川 米川
千葉富子 村上君枝 小野寺和彦 小野寺好道 及川豐子 及川裕子 岸名和子 千葉サキコ 及川ヤエ 千葉勝保 及川守男 錦織



男の料理教室

対象：米川地域の男性

月日:平成25年12月6日(金)18:30~

場所:米川公民館

内容:簡単! なべ料理

会費: 1,500円

お申込みお待ちしております。



増進を目的に開催された
第32回米川朝ソフトボール
リーグ戦全催米川
朝ソフトボール愛好会
会長岩淵正宏氏が9月
29日で全日程を終了。11
月23日夜、五日町会館で
表彰式と納会が盛大に行
われ、ました。

な、って運営にご協力頂き
雨で日程が延びたものの
事故なく終了できたこと
に感謝致します。」と岩
淵会長があいさつ。

ハッ タリ ーズ (3区)	受賞 した。来 年事務 局チム	小野寺公一 タークル	千葉明美 タークル	▽敢闘賞 タークル	▽岩淵正宏 タークル	▽最高殊勲 選手賞 タークル	▽沼倉祐之 タークル	▽最優秀投 手賞 タークル	▽第5位 ハッター ーズ	▽第4位 ハッター ーズ	▽第3位 カーカム ーズ	▽準優勝 ダークホ ーズ	▽優勝 タークル ーズ	結果は次 の通り。
------------------------	--------------------------	---------------	--------------	--------------	---------------	----------------------	---------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------

米川朝ソフトボールリーグ戦閉幕
優勝ロートルズ 2年連続5回目

地域おこし協力隊活動レポート 浦田紗智 『農村地域活性化活動にかかる研修』に参加。

11月19日(火)～21日(水)の3日間、東京代々木SYDホールで、地域おこし協力隊等を対象にした『農村地域活性化活動にかかる研修』に参加しました。

全国各地から行動的で志の高い約80人が集まりました。

内容抜粋

●一つの集落を喪失することは、千年以上風土に寄り添った暮らしの仕組みや知恵の喪失、それは一つの国会図書館がなくなることと同様。経済効率を追い求めるあまり、身近な資源が利用されず、野山が荒れ、その結果、災害対策費等で経済面でも無駄が生じていることがある。100%お金で作るという現代の生活を脱却し、お金+物々交換・助け合い+自給・採取で作るバランスの取れた生活を目指すべき。

●特産品開発・地域ブランドなど、流行の真似や権威に頼った商品開発が多いが、長続きはしない。地域の特性・地域資源に根差した地域づくりを住民が主体となって行すべき。地域資源の保全などに都市住民は共感する。商品もその背景となる「物語」があってこそ、買ってもらえる。

●移住者受け入れの事例として「ワークインレジデンス」という方法がある。住民の間に地域に足りない店やサービスを話し合い、例えば「パン屋がほしい」となれば、空き家を用意し、パン屋開業希望者を募集する。移住希望者と住民の間に面談をして、双方合意の上で移住・開業が決定する。

米川地域のような農山村が「周回遅れのトップランナー」となり得ると感じました。地域住民と都市住民が、課題に対する共通認識を持ち、ともに取り組むと良いのではないのでしょうか。 浦田紗智



12月の予定

1	日	黎明太鼓
2	月	米川古文書学習会、シニア体力づくり教室 福扇会、レダソ教室、剣道部 少
3	火	米川若草会
4	水	泉趣会、かたけ教室、剣道部 少
5	木	出前講座(米川若草会)、あばせ教室
6	金	絵手紙教室、男の料理教室
7	土	土曜学習教室、剣道部 少
8	日	ことほぎ総合、黎明太鼓
9	月	シニア体力づくり教室、福扇会、剣道部 少
10	火	レダソ教室
11	水	泉趣会、剣道部 少
12	木	加工特産品開発セミナー、あばせ教室
13	金	加工特産品開発セミナー、つるし飾り愛好会 あばせが教室
14	土	土曜学習教室
15	日	
16	月	米川古文書学習会、シニア体力づくり教室 福扇会、剣道部 少
17	火	レダソ教室
18	水	泉趣会、かたけ教室、剣道部 少

19	木	柳絮会俳句教室、あばせ教室
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	シニア体力づくり教室
24	火	ワール米川プロジェクト、レダソ教室
25	水	ワール米川プロジェクト、泉趣会
26	木	ワール米川プロジェクト
27	金	正月生花教室
28	土	
29	日	休館
30	月	休館
31	火	休館

1月の予定

1	水	休館
2	木	休館
3	金	休館
4	土	
5	日	
6	月	米川古文書学習会、シニア体力づくり教室
7	火	
8	水	かたけ教室

※公民館事業又は利用許可申請済の団体のみ記載

米川の世帯数と人口

平成25年10月末現在

行政区	世帯数	男	女	計(人)
1区	180	167	186	353
2区	122	166	162	328
3区	114	174	182	356
4区	99	153	129	282
5区	79	119	121	240
6区	90	136	132	268
7区	72	104	111	215
8区	114	127	149	276
9区	72	75	110	185
10区	42	72	65	137
計	984	1,293	1,347	2,640

編集後記

市民の尊い命を火災から守るため、11月18日、火災非常事態宣言が発令されました。これからは、空気が乾燥し火災が発生しやすい時季です。皆様には火の取り扱いや暖房器具等の取り扱いには十分注意していただき、火災予防対策をお願いします。またこの時季、車の運転時、早めのライト点灯をお願いします。

米川地域振興会ホームページ
【宮城米川・里山だより】
URL: <http://miyagi-Yonekawa.com/>

